た山あ仕あ俺盆ふさ線マ だ裾な事なののとら香ッ のたにた杜休 あ秋に名に撰みあらやを な を ずにな揺け擦 たひあ借あったたれにれ にとなりなん帰のるつば りたたたりれ 割会ににさな吐吾難お が 息 か 息 が に に で の 紅 に くきり沙りいたよ てたた汰た い吹

俺頭あそ来あ守あ後親 になう月なれなでの でたたた恥こ 死白た ぬ髪には俺に試のじと なな あめ離あさあいど 混なて婚なえな 気 すたた自遣 あじた なりに自るになの分う た始 分ん のめ見をだ威け形生に 子てて生よ張ど見き 供もいき の言葉 つ てる てみ 欲 た

しり

ば身あ気あ昔今俺そこ小 かにな強なみは れこさ 野したくたたいあでしな 郎みの寂はいとなもか町 にこた母知に ががをら いあさあ な嫁 っやの堪はとんまき てっ (こ) もくしら八上 くと見ら家るるいっだき ったって 家よたっ よがなえも 届いた遠 た (うち) (きず)が

## 吾 亦 紅 わ もこう

た山謝あ仕謝あ嘆俺盆ふさ線おマ1 だ裾りな事りないののとら香ろッ を意動を表現である。 つよ た う に う

謝会 に ご無 りし たに くき てた 汰

作詞ちあき哲也

いっだき

よたって

た

ばや身見あ気家あ昔住今俺そこ小2 かっにせな強族なみんは れこさ 野としなたくもたたでいあでしな 郎手みいの寂遠はいるとなもか町 とがて疵しくに家こた母知に 届いきあさ なくがなを なりがた なりがある。 なりがなる。 なりがた。 たがに、 美生いい の堪 まきで はと **つ** てくれ (1) **7** も しき人生

る

だ

よ

## 吾 亦 紅 わ れもこう)

作詞ちあき哲也

俺頭見あ自そ来威あ守形あ後親3 にてな分う月張なれ見なでの 死白いたを でったたのた恥こ ぬ髪てに生は俺てに試言のじと まが欲 きじ み し葉 なな で しあるめ離たあさ あいど な気 混いな て婚いなえ あじたすた た自遣 る の分う にな h を暇 だ 生に もつろ سل よ

なりに た始 のめ 子て 供も